月自治研 12 2015 vol.57 no.675

UNDER35: 企画 JK課×自治研=ゆるプロ グラビア 発掘!地域の 希望のタネ 福井県小浜市〈焼き鯖すし〉 5 〈くじらの竜田揚げ〉和歌山市現業職員労働組合学校給食部会谷 給食のじかん 6 8 躍動する全国のUNDER 35 内田聖子 TPP合意その意味するもの 焦点 10

UNDER 35: 若者からの自治研宣言

	CUDETCOO. 和温4 202日間的		-	
講演録	ゆるい公務員一わからないと言えるか	若新雄	純	16
座談会	UNDER 35 の 西尾祥之+横井直人+ これまで&これから 小田隆介+安部裕貴+			23
レポート	自治研活動「大和高田市既存施設の活用研究」を 通して学んだこと― 「若いカ」の必要性	西川侑	里	33
レポート	若手職員と若い市民ボランティアの協働 「河川環境楽園夏フェス」 —各務原市	廣瀬真		38
レポート	「前橋の地域若者会議」がめざすもの 一「発起人」と「事務局」二つの視点から	高橋良 鈴木正		42
メッセージ	公害病の被害者救済区域の拡大が原体験	黒岩正	治	47
メッセージ	"おもい"を "かたち" に一地域を駆け巡った若き日々	橋本達	昌	48
地域包括ケア	「地域包括ケアシステム」でめざす地域とは	石川貴	美子	49
地域包括ケア の現場力	「地域包括ケアシステム」でめざす地域とは 家族の機能を分け合う地域力	石川貴 橋本敦		49 55
0.00		橋本敦		
の現場力	家族の機能を分け合う地域力	橋本敦 江崎	士孝	55
の現場力 さき咲き コラム	家族の機能を分け合う地域力 日韓関係を対馬で考えてみました	橋本敦 江崎 小島重	士 孝 俊	55 60
の現場力 さき咲き コラム 自治体議員と	家族の機能を分け合う地域力 日韓関係を対馬で考えてみました 「皆に知らせ・皆で議論し・皆で取り組む」ことを基本に	橋本敦 江崎 小島重 中嶋光	士 孝 俊	55 60 62
の現場力 さき咲き コラム 自治体議員としてめざすもの 自治研	家族の機能を分け合う地域力 日韓関係を対馬で考えてみました 「皆に知らせ・皆で議論し・皆で取り組む」ことを基本に 格差社会の是正 生活者・弱者の目線で県政を!	橋本敦 江崎 小島重 中嶋光	士 孝 俊	55 60 62 64
の現場力 さき咲き コラム 自治体議員と してめざすもの 自治研 お悩み相談室	家族の機能を分け合う地域力 日韓関係を対馬で考えてみました 「皆に知らせ・皆で議論し・皆で取り組む」ことを基本に 格差社会の是正 生活者・弱者の目線で県政を! まとめ編®「自治研」、それは自治労の精神そのもの	橋本敦 江崎 小島重 中嶋光	士 孝 俊 雄	55 60 62 64 66
の現場力 さき咲き コラム 自治体議員と してめざすもの 自治研 お悩み相談室	家族の機能を分け合う地域力 日韓関係を対馬で考えてみました 「皆に知らせ・皆で議論し・皆で取り組む」ことを基本に 格差社会の是正 生活者・弱者の目線で県政を! まとめ編◎「自治研」、それは自治労の精神そのもの 『月刊自治研』を読む®それぞれの革新自治体(その四)	橋本敦 江崎 小島重 中嶋光	士 孝 俊 雄	55 60 62 64 66 68
の現場力 さき咲き コラム 自治体議員と してめざすもの 自治研 お悩み相談室	家族の機能を分け合う地域力 日韓関係を対馬で考えてみました 「皆に知らせ・皆で議論し・皆で取り組む」ことを基本に 格差社会の是正 生活者・弱者の目線で県政を! まとめ編●「自治研」、それは自治労の精神そのもの 『月刊自治研』を読む●それぞれの革新自治体(その四) 自治研センターの機関誌案内	橋本敦 江崎 小島重 中嶋光	士 孝 俊 雄	55 60 62 64 66 68 73

るプロ」を通じて感じた、若い自治体職員の代の企画メンバーと参加メンバーとが、「ゆ「ゆるプロ」をつくりあげたUNDER15世 NDER35にとっての自治研





研究員」との活動から「若い力の」必県本部が募集した「短期地域おこし地域活性化の方策をさぐろうと奈良

女性が見えてきました。(本誌三三頁)

高田

市民ボランティアの協働 員と

進んでいます。 (本誌三八頁) ア。自治体と若い市民との接点づくりがア。自治体と若い市民との接点づくりがア。自治体と若い市民との接点づくりがリニューアルした夏のビッグイベントリニューアル



発起人と事務局の二つの視点で振り際に活動する地域若者会議について、際に活動する地域若者会議について、地域の課題解決やまちの未来のため

わがまちの課題に取り組む全国の若手の自治体職員の取り組みをご紹介します。 『UNDER35』をはじめ、 市民との協働や、 者会議」

躍動する全国の

D E R 35

若手組合員による企画プロジェクト *UZ二〇|四年の佐賀自治研で産声をあげた